

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 研究課題番号 | 5G-2101                         |
| 研究課題名  | 水環境中の要調査項目調査へのターゲットスクリーニング分析の実装 |
| 研究実施期間 | 令和3年度～令和5年度                     |
| 研究機関名  | 東京大学                            |
| 研究代表者名 | 栗栖 太                            |

## 1. 委員の指摘及び提言概要

調査頻度の低い要調査項目を幅広くスクリーニング的にターゲット分析できる手法の開発は環境保全上必要であり、本研究はそのニーズにこたえるものである。分析法開発・実装において着実な成果が得られ、半揮発性物質などを含む多くの物質を同時分析可能にしたことは科学的にも実務的にも大きな成果だと思う。今後、スクリーニングを推進する簡易な分析法として、着実な実装を期待するが、誰がどのような目的で利用するかなど利用形態を想定して、成果をまとめることを期待したい。また、PNEC より大幅に高いサンプルの場合、希釈して定量性を確認するなどの慎重な検討や、環境水を対象とした回収率や質量分析への影響の整理（限られた試料でよい）が求められる。

## 2. 採点結果

評価ランク：A